

タイトル「鋼管杭の開口養生の工夫について」

工事名 平成30年度社会資本整備総合交付金事業（防災・安全）（明許繰越）大井川港胸壁整備工事（第2工区）

地区名 島田地区  
会社名 株式会社橋本組

執筆者 現場代理人 稲毛 諭史（技術者番号 00074912）

## 1. 工事概要

発注者：静岡県焼津市役所大井川港管理事務所

元請：株式会社 橋本組

工事場所：静岡県 焼津市 飯淵 地内

工期：令和1年6月3日～令和2年2月20日

工事内容：施工延長 27.86m、胸壁工 19.18m  
土工1式、構造物基礎工1式、胸壁工1式、  
舗装復旧工1式、排水工1式、雑工1式、安全費1式

## 2. 工事目的

本工事は焼津市飯淵地内の大井川港の岸壁において、津波及び高潮による浸水被害を軽減するための胸壁を設置する工事です。

工事内容は施工延長 27.86mに対して胸壁工 19.18m残り 8.68mは鋼管杭の打込みを実施する工事です。

胸壁は、生命・財産の防護を目的としています。

【着手前】



【完成】



### 3. 現場での課題

施工延長 27.86mの内、胸壁本体工 19.18m以外の部分については、鋼管内の埋め戻しを実施しない設計になっていたため、鋼管内への転落防止に加え、次期工事のとりかかりを容易にする為に、埋め戻し時における開口養生方法の工夫が必要になりました。

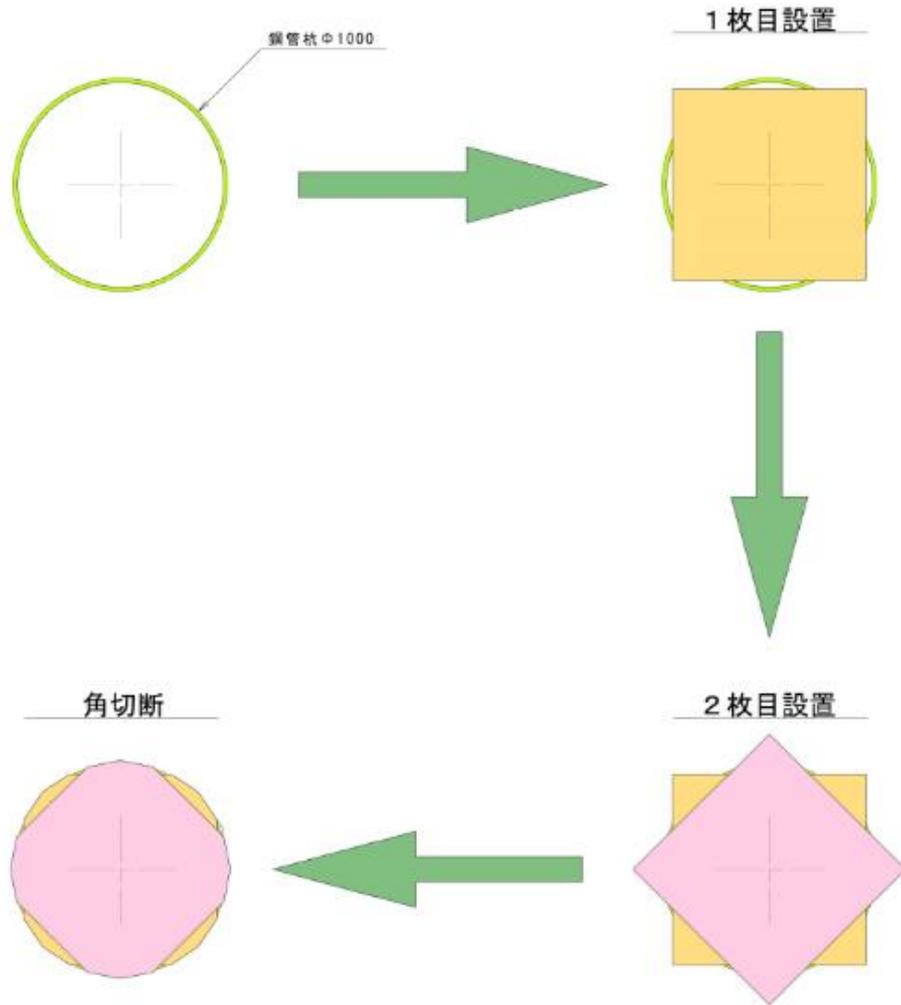
### 4. 現場での工夫

従来、この手の鋼管開口部の養生には、1枚モノのコンパネを使用していましたが、本工事で使用している鋼管の直径はΦ1000mmであり、既製品の幅900mmのコンパネをそのまま使用すると、隙間ができてしまいます。また、コンパネを支える支点間距離が長い為、コンパネ自体がたわんでしまい、上載荷重に対する強度が不足してしまうといった問題もありました。

そこで、2枚のコンパネを45度ずらして重ねて設置することで隙間もなくなり、強度的にも十分なものになりました。

ただこのままでは小さな隙間からの土の流入やコンパネ自体が横方向にずれる事もあるので、大型土嚢にて覆い、底部に栈木にてずれ止めを設置することとしました。また、大型土嚢設置の障害となる八か所の出っ張り部分については、丸鋸で切断することで、大型土嚢をスムーズに設置することができました。

【蓋施工順序】



【コンパネ蓋設置状況】



コンパネ 2 枚設置、角切断完了状況。

【大型土嚢設置状況】



大型土嚢にて覆う事により隙間からの土砂などの流入を防ぎます。

【埋め戻し・立ち入り防護柵完了】



#### 5. 最後に

本年度も台風による高潮および高波による被災が頻発しました。  
未発注部分を含め、品質及び出来形を重視して、より良い物造りを行い、胸壁工事全体を早期に完成させ、津波や高潮による被害を食い止められるよう、これからも頑張っていきたいと思えます。